

てん一新聞

季節の変化は、今のところ確実に訪れる。地球温暖化がすすんでいるとはいえず、冬には寒く、初夏も雪の国が多い。

春は間違いないと近づいているようだ。陽の光の変化があり、陽差しが強くなっている。二月になり、少し陽あたりのいい場所では雪がけに福寿草が顔を出す。

福寿草は、めづらしい花にはあり、日本人や、遠征を目的に来る人がいるので心配が……

厚皮が山野草を思わせる。雪さとの中にも、自分だけ居るはよいという人はいらぬ。心なうか、きしいな株をめぐり、他の株を踏んづきまう、ともあり、年々、群生地でも少なくなっているよつと。

現在に、凍結がの大き群生地は少なくなっているよつと。

その上、私達自身も、めづらしいもの、少なくなっているよつと、自然がくれた宝物を生かして、つとまう。

そろそろ



はる

No.130
市岡田
08-88-5292
08-88-0887

雪がけの水の流れる音が心地いい。そこ、色と雨とに山々に色がつきはじめてくる。モントーの風景に、ぼんやりと色がつきはじめて、もう、かけ足で、春が近づいてく。

が



木

どうすればいいんだか。こうして厚皮がお見せしたいし、福寿草の花を、見たい。春を感ひることは、その地にもありますよ。春を知らせてくれる。なによりも、空気が、和らぐ。

四国代表のクレスチャーの皆さん、お見せしたいし、福寿草の花を、見たい。春を感ひることは、その地にもありますよ。春を知らせてくれる。なによりも、空気が、和らぐ。

毎日目にする現象はとまらば見えてくる。大きな変化は新鮮に感じられる。日々の面白く、楽しい。イベントも同じくはひらいてく。

国際聯合戦四国大会が終了して、二月二十三日には、北海道で国際大会が開かれた。

日常と非日常

